

令和8年度版

# 南会津の農林業

福島県南会津農林事務所



# はじめに

福島県では、令和4年度を初年度とし、令和12年度を目標年度とする新しい「福島県農林水産業振興計画」を策定し、「『もうかる』誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を基本目標として掲げました。南会津農林事務所では、「活力ある農林業と人の交流が織りなす、輝く南会津」をスローガンとして、『もうかる』誇れる』農林業の実現に向けて南会津地域の農林業が一步一步着実に発展できるよう、「農林業の持続的な発展を支える基盤の強化」「安全で魅力的な農林産物の供給」「活力と魅力ある農山村の実現」を3本の柱とし、関係機関・団体等との密接な連携のもと、総合的な視野に立った支援・指導や、農業・農村・森林・林業に関する一体的な情報の提供を積極的に行っています。

# 概況

## 1 位置・地勢

南会津地域は、福島県の南西部に位置し、3町1村からなっています。面積は、神奈川県とほぼ同じ234,153haと県土の17.0%(会津地方の43.2%)を占め、その93.1%は森林となっています(図1)。

南は栃木県と群馬県、西は新潟県に接する中山間地域であり、駒止峠と中山峠を境として阿賀川流域となる大川に沿った東部地域(旧田島町・下郷町)と尾瀬を源とした只見川とそれに流下する伊南川を合わせた只見川流域となる西部地域(檜枝岐村・旧館岩村・旧伊南村・旧南郷村・只見町)に大別され、これら河川に沿って耕地及び集落が形成されています。

## 2 交通

東部地域には、会津鉄道、野岩鉄道と国道118号、121号が大川沿いに、西部地域にはJR只見線と国道252号が只見川沿いに走り、その間を国道289号、352号、400号、401号が結んでいます。平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨により被災した只見線は、令和4年10月に全線復旧しました。また、浅草や新宿とは、会津鉄道、野岩鉄道、東武鉄道により、平成29年4月には浅草と会津田島を乗り換えなしで結ぶ新型特急の運行が開始され、これまで以上に首都圏からの観光客の入り込み及び農林水産物等の消費・販路拡大が期待されます(図2)。

平成20年9月に開通した国道289号甲子道路は、中通りや浜通りとの連絡路であり、豊かな自然を活用した都市との交流、及びリゾート基地へのアクセス道路として、地域の活性化に大きな役割を果たしています。

また、令和6年3月には会津縦貫南道路の一部である下郷町の小沼崎バイパスが開通となり、安全・安心な道路機能の確保が図られました。

## 3 気候

気候は、夏季は内陸型であり、冬季は典型的な日本海型で四季の変化に富んでいます。

夏は涼しく、冬は寒さが厳しく積雪が4mを超える地域もあり、旧田島町が豪雪地帯、その他の町村は特別豪雪地帯の指定を受けています。

しかし、この厳しい気象条件は豊かな自然と温かな心を持った人々を育てています。

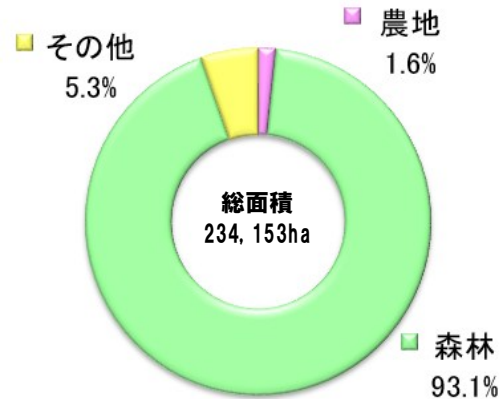


図1 南会津地域の面積の内訳(令和6年度)

出典 農林水産省「作物統計調査」  
福島県農林水産部「令和7年福島県森林・林業統計書」

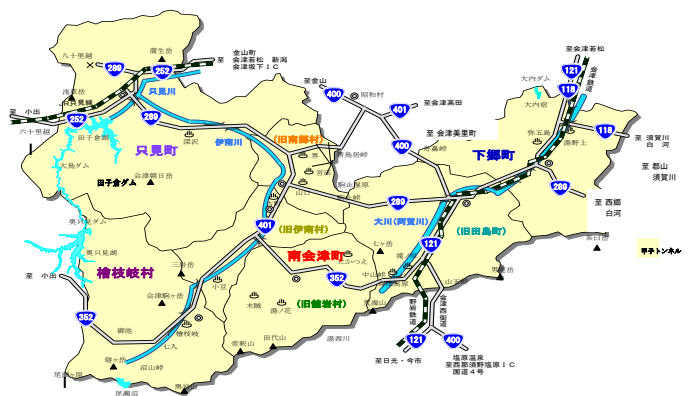


図2 南会津地域のアクセス



大内宿(下郷町)

## 4 人口

表1 人口の動向

(単位：人)

人口は、毎年減少しており、平成12年(2000年)には35,117人であった人口が、令和8年には20,468人(県全体人口の1.2%)と、前年比で3.2%減少しており、同時期の県全体の人口増減率▲1.4%と比べ、人口減少率が高くなっています(表1)。

また、高齢化率は47.7%と県平均の34.6%と比べて10ポイント以上高い状況になっています。

| 年度等         | 南会津郡   | 下郷町   | 檜枝岐村  | 只見町   | 南会津町   | 県全体       |
|-------------|--------|-------|-------|-------|--------|-----------|
| 平成12年       | 35,117 | 7,568 | 754   | 5,617 | 21,178 | 2,129,537 |
| 令和7年(①)     | 21,147 | 4,528 | 473   | 3,492 | 12,654 | 1,726,116 |
| 令和8年(②)     | 20,468 | 4,354 | 474   | 3,364 | 12,276 | 1,701,199 |
| 高齢化率(65歳以上) | 47.7%  | 50.8% | 42.6% | 48.7% | 46.6%  | 34.6%     |
| 増減率(①→②)    | ▲3.2%  | ▲3.8% | 0.2%  | ▲3.7% | ▲3.0%  | ▲1.4%     |

出典 福島県統計課 「福島県の推計人口 福島県現住人口調査月報」  
(R7.4.1及びR8.4.1時点)

## ■ 農林業の概況

### 1 農業関係

#### (1) 農家

総農家数は平成27年の2,763戸から令和2年には2,171戸と21.4%減少しています。なお、令和2年の販売農家\*1は1,075戸で、このうち副業的農家\*2が80.2%を占めています。

また、令和2年の基幹的農業従事者\*3数は1,298人(県全体51,599人の2.5%)で、そこに占める65歳以上の割合は78.4%であり、県全体(74.8%)に比べて3.6ポイント高い状況になっています(図3)。

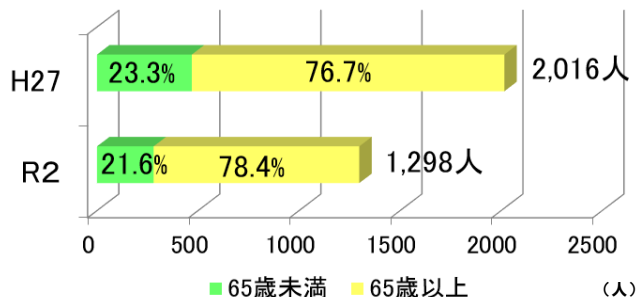


図3 南会津地域の基幹的農業従事者数の推移

出典 農林水産省「農林業センサス」

#### (2) 耕地面積

耕地面積(令和7年)は3,638ha(県全体132,900haの2.7%)あり、このうち水田が2,398ha(65.9%)、畑(樹園地、牧草地を含む)が1,235ha(33.9%)です。

なお、経営耕地面積別の経営体数の割合(令和2年)は、1戸あたりの面積が1ha未満の農家の割合が58.2%と、県平均(44.0%)を大きく上回っています(図4)。

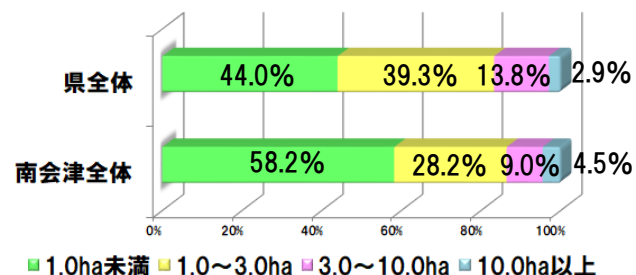


図4 経営耕地面積規模別経営体数(令和2年)

出典 農林水産省「農林業センサス」

#### (3) 生産状況

主な作物の令和7年度(そばは令和6年度)の作付状況は、水稻1,634ha、そば551ha、夏秋トマト29.8ha、アスパラガス9.4ha、花き類では、リンドウ11.1ha、宿根カスミソウ5.4ha等です。

また、令和6年度の会津よつば農業協同組合取扱高で最も多かったのは、トマトやアスパラガス等の野菜類で15億5999万8940円と全体の55.6%を占め、次いで、米などの穀類が9億9104万2418円(35.3%)、次がリンドウや宿根カスミソウなどの花き類2億4873万9204円(8.9%)でした(図5)。令和6年度南郷トマトの販売金額は14億5754万8692円で、過去最高の販売金額となりました。

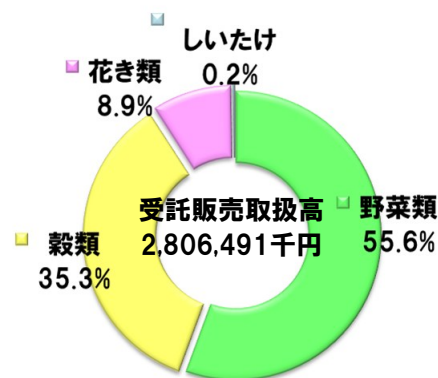


図5 会津よつば農業協同組合(南会津地域分)受託販売取扱高(令和6年度)

出典 作付状況：南会津農林事務所調べ(水稻、ソバは統計面積)  
受託販売取扱高：会津よつば農業協同組合(南会津地域分)

\*1 販売農家：経営耕地面積が30a以上、または農産物販売金額が年間50万円以上の農家。

\*2 副業的農家：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家。

\*3 基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。

## 2 農村整備関係

### (1) ほ場整備

ほ場整備の取組は、30aを標準区画とする事業が創設された昭和38年以来、県営17地区、団体営31地区を実施しており、整備率は83.1%であり、県全体の整備率76.0%に比べて高くなっています(図6)。

現在は只見地区、梁取地区、荒海地区、鴫巣地区の計4地区において実施中です。

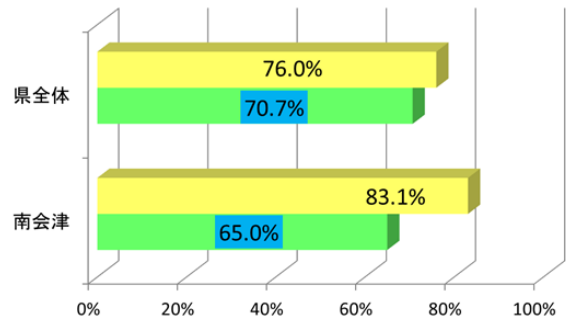


図6 ほ場整備率と担い手への集積率(令和6年)

※県全体の担い手への集積率のみ令和4年度末の値  
出典 福島県農林水産部調べ(集積率は国定義による)



農地中間管理機構関連農地整備事業  
(只見町只見地区)

### (2) 中山間地域総合整備

中山間地域の農業生産基盤と農村生活環境基盤を一体的、総合的に整備する中山間地域総合整備事業は平成5年度の南郷地区から始まり、以後ただみ東地区、荒海地区、館岩地区、ただみ西地区で取り組み、農道・集落道36.5km、農業水路29.4kmや農村公園、活性化施設、交流施設を整備しており、現在は、南会津西部地区、下郷地区において実施中です。

## 3 林業関係

### (1) 森林資源

森林面積は、217,980ha(県全体971,677haの22.4%)で、国有林が116,640ha(53.5%)、民有林は101,341ha(46.5%)となっています(図7)。

民有林のうち、私有林は67,511ha(66.6%)、公有林は29,852ha(29.5%)、森林整備センター林\*4は3,977ha(3.9%)となっています。

### (2) 保安林\*5

保安林総面積は、146,218ha(県全体396,128haの36.9%)であり、うち水源かん養保安林が67.5%、土砂流出防備保安林が31.5%を占めています(図8)。

### (3) 生産状況

令和5年の素材生産量は48千m<sup>3</sup>、令和6年の特用林産物の生産量は、主なきのこ類59t、山菜類12tとなっています。

### (4) 林業経営体\*6

令和2年度の林業経営体は26事業体で、内訳は南会津町17事業体、下郷町6事業体、只見町3事業体となっています。

また、令和7年次の新規林業就業者は8人(県全体107人)で、65歳以上はいません。

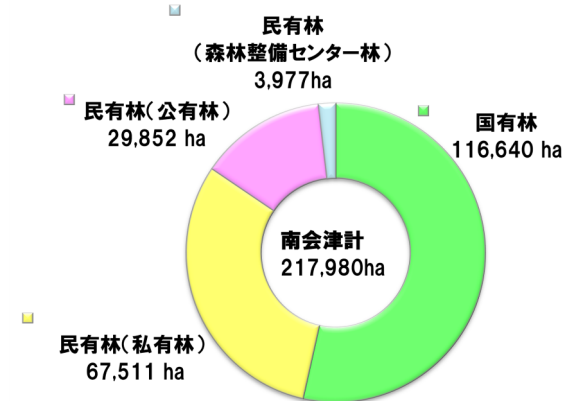


図7 南会津地域の森林の面積(令和6年度)

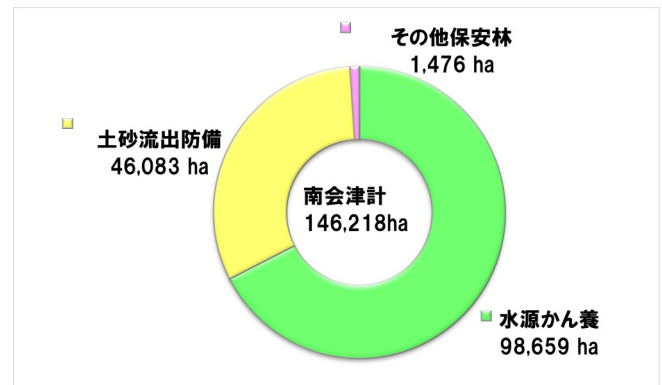


図8 南会津地域の保安林の面積(令和6年度)

出典 福島県農林水産部「令和7年福島県森林・林業統計書」、関東森林管理局「会津国有林の地域別の森林計画書(会津森林計画区)」

\*4 森林整備センター林: 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センターが保安林の機能を向上させるために、整備(間伐等)している森林。

\*5 保安林: 国土の保全、水源のかん養、生活環境の保全等を目的として森林法に基づき指定された森林(保安林総面積は民有保安林、国有保安林の合計面積)。

\*6 林業経営体: 保有山林面積が3ha以上の規模の林業を行う者。また、委託を受けて行う育林もしくは素材生産、または立木を購入して行う素材生産の事業を行う者。

# ■ 活力ある農林業と人の交流が織りなす、輝く南会津

「福島県農林水産業振興計画」(令和3年12月策定)に基づき、南会津地方の振興方向を定め、「活力ある農林業と人の交流が織りなす、輝く南会津」をスローガンに次の3本の柱により各種事業を実施しています。

## 1 農林業の持続的な発展を支える基盤の強化

地域の特色をいかしながら農林業を持続的に発展させるため、地域の核となる担い手を確保・育成するとともに、ほ場の大区画化や汎用化、農業水利施設や林道の整備等を進めます。

### (1) 持続可能な生産構造を支える担い手の育成・確保

・町村や生産者団体等と連携し、就農希望者の受入れや新規就農者のサポート体制を強化するとともに、新規就農者や定年帰農者等を認定農業者\*7へ誘導しながら、地域農業の担い手の確保・育成を図っています。

・福島県農業振興公社の就農コーディネーター\*8及び地域マネージャー\*9と連携し、就農支援活動や担い手への農地集積・集約化に向けた活動を展開しています。

・各町における地域計画の策定、大規模経営体などの担い手への農地の集積・集約化を支援しています。

・町村や関係団体等と連携し、林業担い手の確保・育成、林業事業体の経営基盤強化を図っています。

### (2) 生産基盤の整備と農地の集積促進

・土地利用型作物や園芸作物の生産性の向上を図るため、ほ場の大区画化や汎用化、農業水利施設や農道等の整備を推進しています。

・担い手への農地集積や高収益作物の導入により、農業生産コストの削減と所得の向上を図っています。

・老朽化した農業水利施設等の計画的な保全・更新を推進しています。

・農道や農業水利施設の安定的な機能発揮及び長寿命化を推進しています。

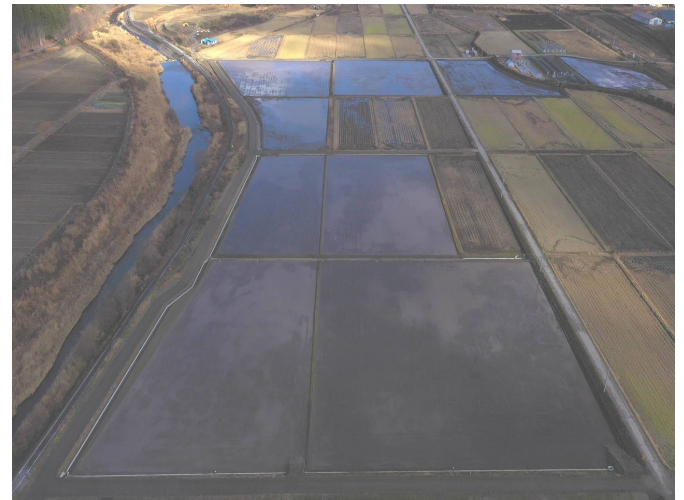
・林内路網整備や高性能林業機械導入等による林業生産基盤の整備を推進しています。



スキー場での就農相談会  
(南郷スキー場)



農業水利施設の合同診断



農地中間管理機構関連農地整備事業



森林居住環境整備事業「七ヶ岳線」

\*7 認定農業者:効率的で安定的な農業経営を目指す「農業経営改善計画」を作成し、市町村の認定を受けた農業者。

\*8 就農コーディネーター:県の各農林事務所農業振興普及部に駐在し、現地で就農希望者の相談に対応するなど、就農を支援する。

\*9 地域マネージャー:県の各農林事務所農業振興普及部・農業普及所に駐在し、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を推進する。

## 2 安全で魅力的な農林産物の供給

消費者に安全で魅力的な農林産物を届けるため、認証GAPの取得を支援するなど、地域農林産物の信頼確保とブランド力の強化を図ります。また、豊かな森林資源の有効利用を図りながら林業の成長産業化を推進します。

### (1) 戦略的な生産活動の展開

- 南郷トマト生産組合、水稻部会等の生産組織及び大規模経営体等を中心にGAP<sup>\*10</sup>の取組を支援しています。
- 田島花卉部会等を中心に、花き日持ち品質管理認証<sup>\*11</sup>の取組を支援しています。
- 大粒系ぶどうの水稻育苗ハウスを利用した栽培を実証し、新たな産地形成を進めています。
- 直進アシスト田植機やドローン、施設園芸での環境測定装置等の導入によるスマート農業を推進しています。



南郷トマト



会津田島アスパラ



リンドウ



宿根カスミノウ

### (2) 需要を創出する流通・販売戦略の実践

- 緊急時モニタリングの実施や直売所等への出荷管理指導により、農林産物の安全性を確保するとともに、農産物、きのこや山菜などの特用林産物における放射性物質の影響に対応した技術指導や、生産販売体制づくりに係る支援を行っています。また、様々な機会を活用し、当地域の農林産物の安全性や魅力を発信しています。
- 野生の山菜・きのこの出荷制限解除に向けた取組を進めています。



モニタリング検査説明会

- 「福笑い(米)」、「里山のつぶ(米)」、「会津のかおり(そば)」、「ふくきたる(アスパラガス)」、「天の川、福島GE24号(リンドウ)」などの県オリジナル品種導入を推進し、ブランド力の強化を図っています。

- 森林施業の集約化を図り、主伐・再造林の森林整備を促進するとともに、地域の特徴的な樹種であるカラマツや広葉樹など地域材の有効活用を進めることにより、林業の成長産業化を推進しています。



地域材の利活用

(みなみあいつ森と木の情報・活動ステーション「きとね」)

\*10 GAP(Good Agricultural Practice): 農業生産工程管理。農業者が農産物の安全性や環境保全などについて、適切な管理を行うことで危害要因の発生を抑えようとする取組。

\*11 花き日持ち品質管理認証: 生産・流通・小売が日持ち性向上対策に取り組んでいることを認証する制度。

### 3 活力と魅力ある農山村の実現

集落ぐるみの鳥獣被害対策を支援します。また、次世代につなぐ魅力ある地域づくりと農山村の多面的機能の維持・発揮を図るため、農村生活環境の改善や森林の適正な整備・保全を推進するとともに、住民参加の森林づくりを支援します。さらに、売れる6次化商品の開発や、地域の特色をいかした農山村生活体験の受入体制の強化を支援します。

#### (1) 快適で安全な農山村づくり

- 生産意欲の向上など営農活動を活性化するため、地区の話し合いを基本とした集落ぐるみでの鳥獣被害対策を支援しています。



箱ワナで捕獲されたサル

#### (2) 農林業・農山村の多面的機能の維持・発揮と県民への理解促進

- 農村の多面的機能の維持・発揮を図り、災害に強い地域づくりを進めるため、農業水利施設の点検・維持管理や整備等を進めています。地域外との交流による人材確保や組織づくりなども視野に、地域住民による共同活動を支援しています。



治山事業による荒廃溪流の復旧(只見町宮ノ上山)

- 森林の持つ山地災害防止機能等の多面的機能の高度発揮を図るため、適正な森林整備の推進と計画的な治山事業に取り組んでいます。

- 幼少期からの木育や小中学校における森林環境学習を推進するとともに、住民参加による森林づくり活動を支援しています。



南会津ふるさとワークステイ事業



木とのふれあい創出事業  
(田島小学校)

#### (3) 地域資源の活用促進と交流 人口の拡大

- 売れる6次化商品の開発を支援し、地域産業6次化<sup>\*12</sup>に取り組む実践者の発掘・支援、人的交流機会の創出等に取り組んでいます。また、農林産物の販路・消費拡大のための取組を推進しています。



特産品開発講習会

- 町村や関係団体等と連携し、教育旅行やグリーン・ツーリズム<sup>\*13</sup>の更なる誘致や農家民宿の開設を支援し、交流人口の拡大を図っています。



教育旅行受入れの様子

\*12 地域産業6次化:1次産業の農林漁業者が、加工(2次)や販売その他の多様なサービス提供(3次)に関わることで、生産物に新たな付加価値を加えて、収入の増加を目指す取組。

\*13 グリーン・ツーリズム:農山漁村において、その土地の自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

# 関係資料

## 1 農林産物の安全確認検査

緊急時モニタリングについては、震災以降毎年実施しており、令和7年度は、全ての農林産物で基準値を超えたものではありませんでした。

令和7年度は野菜22品目54点、果樹9品目19点、穀類4品目9点、原乳12点、肉類4点、はちみつ4点、飼料・稲わら15点、山菜10品目41点、きのこ77品目161点、樹実類1品目1点など合わせて320点を検査し、安全を確認しています(表2)。

また、平成24年度から実施していた米の全量全袋検査については、当地域は令和5年度より旧町村ごと1点の抽出によるモニタリング検査となりました。令和7年度は町ごとに1点を検査し、基準値を超えたものではありませんでした(表3)。

表2 緊急時モニタリング結果

| 緊急時環境放射線モニタリング検査年度 | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R7  |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 検査点数               | 411 | 567 | 401 | 309 | 364 | 320 |
| うち基準値超過            | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |

出典 福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

表3 米の放射性物質検査結果

| 検査年度    | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---------|----|----|----|----|----|----|
| 検査点数    | 41 | 41 | 42 | 14 | 9  | 3  |
| うち基準値超過 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |

出典 福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

## 2 様々な農業者

### (1) 認定農業者

新規の認定がある一方で、高齢等を理由に再認定を受けない農業者もいることから、200人程度で推移しています(表4)。

### (2) 農業法人・農地所有適格法人

農業法人数は増加傾向にあり40となっています。その多くを水稻の経営が占めています(表5)。

### (3) 新規就農者

トマト栽培の就農者を中心に、毎年10人前後で推移しており、令和7年度には4人(県全体391人の1%)の新規就農者が誕生しています(表6)。

### (4) 有機・特別栽培農業者

県では、令和4年度に有機農業に関する推進体制を作り、取組の拡大を進めています。

### (5) 認証GAP等

県では、GAPによる持続可能な農業の実現を目指し、GAPの認証取得拡大を進めています。当地域でも取得経営体数は増加しており、南郷トマト生産組合(全生産者が取得)や水稻部会等の各生産部会を中心に、認証GAPの取組を支援しております(表8)。

このほか、会津よつば農業協同組合が組織する生産部会で生産工程マニュアルに基づいた生産に取り組んでいるほか、花きを栽培する1団体が花き日持ち品質管理認証に取り組んでいます。

表4 認定農業者数

| 年度          | R2  | R3  | R4  | R5  | R6  | R7  |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 認定農業者数(経営体) | 201 | 201 | 197 | 197 | 195 | 189 |

出典 農業経営改善計画認定者数

表5 農業法人・農地所有適格法人数

| 年度        | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 農業法人数     | 35 | 36 | 36 | 37 | 39 | 40 |
| 農地所有適格法人数 | 24 | 23 | 24 | 25 | 25 | 26 |

出典 農業振興普及部とりまとめ

表6 新規就農者数

| 年度        | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 新規就農者数(人) | 14 | 14 | 8  | 10 | 9  | 4  |

出典 青年等就農計画認定者数

表7 有機・特別栽培農業者数

| 年度                           | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|
| 有機栽培農業者数(数)<br>(有機JAS認証取得者数) | 3  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
| 特別栽培農業者数(数)                  | 0  | 0  | 2  | 2  | 2  | 1  |

出典 農業振興普及部とりまとめ

表8 第三者認証GAP等取得件数

| 年度                  | R2 | R3 | R4 | R5  | R6  | R7  |
|---------------------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 第三者認証GAP等取得件数(累計)   | 21 | 25 | 22 | 22  | 22  | 23  |
| 第三者認証GAP等取得経営体数(累計) | 77 | 88 | 98 | 108 | 124 | 126 |

出典 農業振興普及部とりまとめ

### 3 都市と農村の交流

#### (1) 教育旅行のべ宿泊者数

教育旅行におけるのべ宿泊者数は、震災の影響により平成23年度に前年度より大きく減少しましたが、平成24年度以降増加し、震災前を上回るまで回復しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少し、現在は再び増加傾向にあります(図9)。

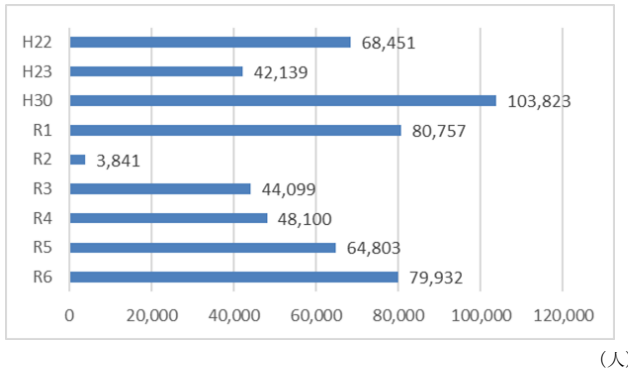


図9 教育旅行のべ宿泊者数

出典 観光交流局観光交流課「令和6年度福島県教育旅行入込調査報告書」

#### (2) 農家民泊受入人数

教育旅行における農家民泊受入人数は、震災の影響により平成23年度に前年度より大きく減少しました。令和元年度に震災前を上回る水準まで回復しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2、3年度は受入を中止しましたが、令和4年度から受入を再開し、増加傾向にあります(図10)。

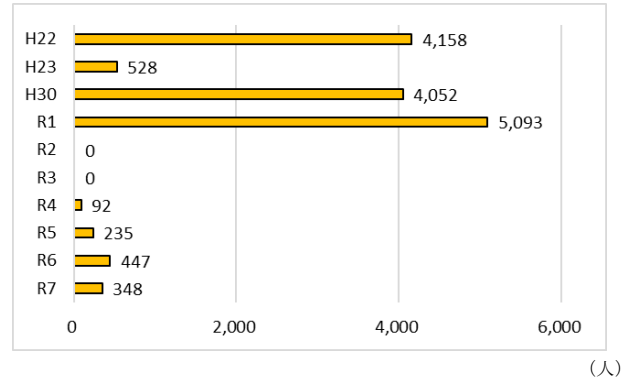


図10 農家民泊受入人数

出典 関係団体等からの聞き取りによるもの

### 4 農家数、総生産

総農家数(表9)、販売農家数(表10)、基幹的農業従事者数(表11)の説明はP2「■農林業の概況 1 農業関係 (1) 農家」を参照してください。

市町村内総生産は、農業においては、平成30年は南会津郡全体で3,203百万円であった総生産額が、令和4年には2,651百万円(増加率▲17.2%)となっています。林業においては、平成30年には南会津郡全体で474百万円あった総生産額が、令和4年には658百万円(増加率38.8%)となっています(表12)。



表12 市町村内総生産

| 年度等      | 南会津郡   |       | 下郷町    |       | 檜枝岐村  |       | 只見町    |      | 南会津町   |       | 県全体     |       |
|----------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|------|--------|-------|---------|-------|
|          | 農業     | 林業    | 農業     | 林業    | 農業    | 林業    | 農業     | 林業   | 農業     | 林業    | 農業      | 林業    |
| 平成30年(①) | 3,203  | 474   | 1,018  | 95    | 14    | 5     | 488    | 41   | 1,683  | 333   | 108,489 | 6,625 |
| 令和元年     | 2,994  | 463   | 955    | 100   | 13    | 7     | 461    | 43   | 1,565  | 313   | 105,869 | 6,895 |
| 令和2年     | 2,852  | 520   | 915    | 101   | 12    | 5     | 439    | 41   | 1,485  | 373   | 102,078 | 7,071 |
| 令和3年     | 2,556  | 609   | 800    | 110   | 12    | 8     | 368    | 57   | 1,375  | 434   | 92,260  | 7,960 |
| 令和4年(②)  | 2,651  | 658   | 830    | 150   | 13    | 7     | 384    | 44   | 1,425  | 457   | 94,348  | 8,842 |
| 増減率(①→②) | ▲17.2% | 38.8% | ▲18.5% | 57.9% | ▲7.1% | 40.0% | ▲21.3% | 7.3% | ▲15.3% | 37.2% | ▲13.0%  | 33.5% |

出典 令和4(2022)年度 福島県市町村民経済計算年報

表9 総農家数

(単位:戸)

| 年度等      | 南会津郡   | 下郷町    | 檜枝岐村  | 只見町    | 南会津町   | 県全体    |
|----------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 平成27年(①) | 2,763  | 768    | 6     | 589    | 1,400  | 75,338 |
| 令和2年(②)  | 2,171  | 637    | 8     | 435    | 1,091  | 62,673 |
| 増減率(①→②) | ▲21.4% | ▲17.1% | 33.3% | ▲26.1% | ▲22.1% | ▲16.8% |

出典 農林水産省「農林業センサス」

表10 販売農家数

(単位:戸)

| 年度等      | 南会津郡   | 下郷町    | 檜枝岐村 | 只見町    | 南会津町   | 県全体    |
|----------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 平成27年(①) | 1,533  | 463    | 1    | 294    | 775    | 52,270 |
| 令和2年(②)  | 1,075  | 356    | 2    | 185    | 532    | 41,060 |
| 増減率(①→②) | ▲29.9% | ▲23.1% | 100% | ▲37.1% | ▲31.4% | ▲21.4% |

出典 農林水産省「農林業センサス」

表11 基幹的農業従事者数

(単位:戸)

| 年度等         | 南会津郡   | 下郷町    | 檜枝岐村 | 只見町    | 南会津町   | 県全体    |
|-------------|--------|--------|------|--------|--------|--------|
| 平成27年(①)    | 2,016  | 603    | -    | 380    | 1,033  | 65,076 |
| 令和2年(②)     | 1,298  | 411    | 1    | 245    | 641    | 51,599 |
| 高齢化率(65歳以上) | 78.4%  | 85.4%  | -    | 78.0%  | 74.3%  | 74.8%  |
| 増減率(①→②)    | ▲35.6% | ▲31.8% | -    | ▲35.5% | ▲37.9% | ▲20.7% |

出典 農林水産省「農林業センサス」

